

## 令和5年度 入学式 式辞

春爛漫の季節となりました。本日、ここに、保護者の皆様のご臨席のもと「第100回松江西高等学校入学式」を挙げていきます事は、大きな喜びです。

只今、130名の新入生の皆さんに入学を許可致しました。9年間の義務教育を終え、さらなる飛躍を求め、本校に入学されました皆さんを、心から歓迎したいと思います。

皆さんの中学校生活は、「新型コロナウイルス感染症」の影響を受け続けた3年間となりました。休校措置や分散登校・学校行事の中止や延期・部活動規制など様々な制約を受ける中で過ごして来たことと思います。

あれから3年が経ちこの4月からはマスク着用の自己判断、5月からは感染症法における分類の変更と脱コロナに向けて動きます。

皆さんを取り巻く社会の環境は大きく変化しています。少し遡ると、2016年の公職選挙法改正により選挙年齢の引き下げがありました。昨年4月からは成人年齢が18歳に引き下げられています。皆さんは、高校3年時の誕生日を迎える日が、成人に達する日となるわけです。子ども扱いされていた高校生が、社会において責任ある主体として、積極的な役割を果たすことが期待される立場になります。このことはとても大きな変化と言えるでしょう。

ところで、社会は産業構造も大きく変わり、AIの飛躍的な進歩や、「ニュー・ノーマル」(新しい生活様式)の定着により、働き方も大きく変わってきています。

また、コロナ禍の中に於いてICT教育は飛躍的に進んできました。教育の中で求められる力も、これまでの知識偏重ではなく、課題を見つける力やその解決に向けた思考力・判断力・表現力・協働性が問われ、個別最適な学びが求められています。

さて、本校は「真に社会に役立つ実践的人材の育成」を建学の精神とし、大正13年(1924年)に設立されました。令和6年(2024年)には百周年を迎える県下でも古く伝統ある学校となりました。この間の卒業生は一万六千人を数え、地域に根差した学校として現在に至っています。校訓は、「誠実・力行・明朗・率直」です。この校訓には、真心で人に接し、何事にも努力を惜しまず、明るく朗らかに、ありのままの自分で居ようという教えが込められています。

そのような歴史の中で、現在も育てたい生徒像として「基礎・基本を身につけ、将来像をもった明るく活力ある生徒」を具現化するため、「基礎力養成」「学び直し」「語彙読解力養成」「キャリア教育」「部活動の奨励」を特色教育として推進しています。

本校には「未見の私の発見」という教育テーマがあります。人はそれぞれ自分では気付かない素晴らしい自分を必ず持っています。学習や部活動・学校行事などを通して自ら発見することで、自己肯定感が育成されると考えています。何事にも果敢にチャレンジすることで、自分の知らない素晴らしい自分に出会えることを願っています。

最後に、本日よりお子様をお預かりする上で、保護者の皆様にお願ひがあります。新入生の皆さんが充実した高校生活を過ごすために、また、社会に貢献できる人材として成長していくためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たし、お互いに連携・協力をすることが大切ではないかと考えています。

私たち教職員一同、一生懸命頑張っていきたいと思ひます。

ご家庭におかれましても、本校の教育方針をご理解の上、お子様の成長の為に様々な場面でご協力をいただきますようお願ひいたします。

終わりになりましたが、本日、ご臨席を賜りました保護者の皆様に心からお祝ひとお慶びを申し上げますとともに、新入生の皆さんのこれからの高校生活が充実したものになりますよう祈念して、式辞と致します。

令和5年4月10日

松江西高等学校 校長 安達 徹